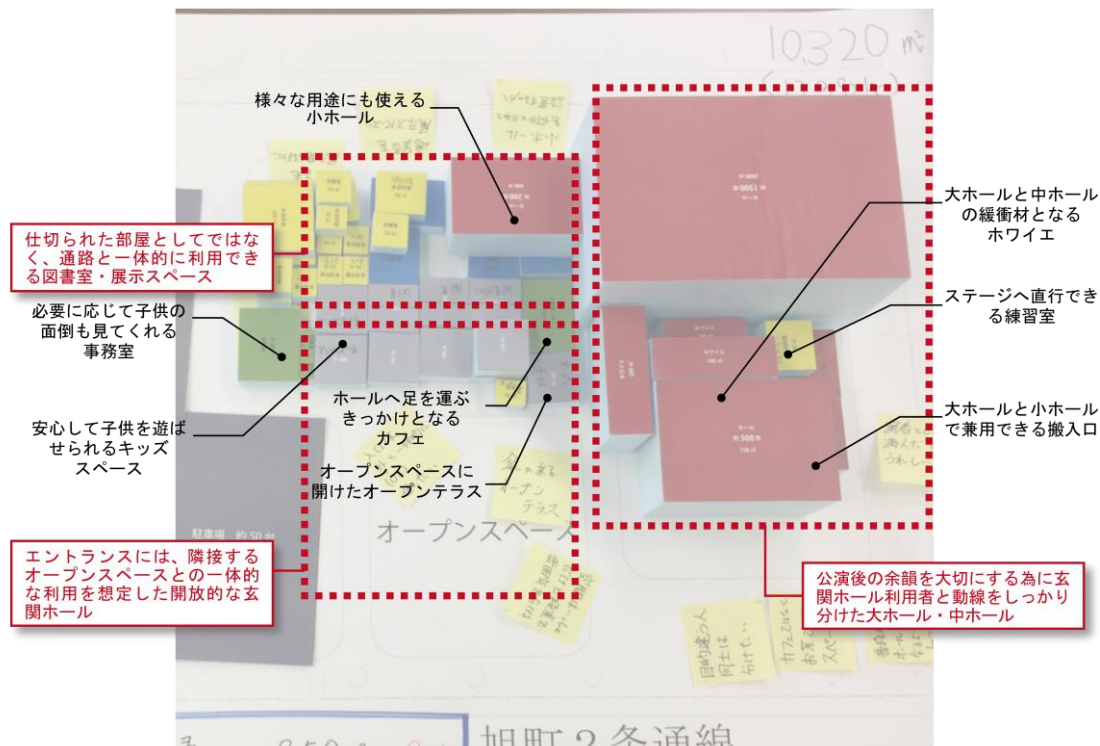


[C グループ]議事要旨

<次第3 前半>複合対象施設の機能ごとのボリュームの分析

- 東広島芸術文化ホールは、駐車場がないものの公共交通機関によるアクセスが良く、使い勝手も良い建物だった。
- 四つの複合対象施設を敷地に載せると圧迫感のあるボリュームになってしまう。
 - 敷地北側の道路の両側に高い建物があると好ましくないのではないか。
 - 土地に合わせて建物の階層を増やせばいいというものではない。
- 四つの複合対象施設のホールを全て合わせると規模が大きいものになってしまう。単純に合わせれば良いというものではない。
- 東広島芸術文化ホールも外から見るとかなり大きなボリュームに見えた。
- 小さな会議室が多くあるが、あまり使い勝手が良いとは言えない。もう少し減らしても良いのではないか。
 - 広い部屋を増やして、自由に仕切ることができるようにすれば良いのではないか。
- ロビーやホワイエを開放的に設えて、どのように使用するかが大切になってくると考えられる。

<次第3 後半>新しい施設の建築ボリュームの検討



■ 議論の流れ

- ① エントランス部分におけるお茶をしながら子どもを自由に遊ばせることができる雰囲気のある玄関ホールの重要性を議論し、それらをオープンスペースと隣接するように配置。
- ② 玄関ホールと大ホール、中ホールといった鑑賞エリアとの境界の雰囲気やあり方について議論し、普段ホールを利用しない人にきっかけを与えるカフェを玄関ホールと大ホール・中ホールの間配置。
- ③ ホールの適切な規模や配置案について議論し、1,500席の大ホールと500席の中ホールを並べ、間にホワイエを緩衝材として設けられるように配置。
- ④ 図書室や展示スペースの気軽な利用の促進について議論し、仕切られた諸室ではなくスペースとして設けられるように通路やオープンスペースと一体的に配置。

■ 活動スペース（黄）について

- ・ 会議室が仕切りで調節できると、それぞれの用途に合った部屋の大きさにできて良いのではないか。
 - 会議室を仕切りで区切る場合、防音性を確保できなくなるのではないか。
 - 広さだけでなく天井の高さも注意する必要がある。ダンスなど身体を動かすものや展示などはできるだけ天井が高い方が良い。
 - 内容によってはロビーで行うことができる会議もあるのではないか。
- ・ 和室を必要としている人はあまりいないのではないか。

- 和室は、稼働率が一番低い諸室である。
- 現状として子どもの活動は畳の部屋が使われているが、床を安全に使うことができれば畳でなくても良い。
- 日本舞踊などでも畳ではなく、板間で行うこともある。
- 茶道教室は、玄関ホールの近くやオープンスペースで野点をすればもっと人が集まるのではないか。
- 会議室で行うことのできることは、市民ホール以外の施設でも行うことができるので、会議室よりも練習場などを充実させるべきではないか。
- 仕切りのある 30 m²程度の会議室が使い勝手が良い。

■ 鑑賞スペース（赤）について

- 小ホールは稼働率を考慮すると、ホールとしてだけではなく、他の用途と兼ねて設置するのが良いのではないか。
- 楽屋のほかにも、ホールに裏手から直行できる練習室があるとコンサートや公演の時には便利である。
- 大ホールはできる限り大きい方が良いが、敷地や隣接するオープンスペースとの兼ね合いも考えて 1,200 席前後の規模が理想的なのではないか。
- 搬入スペースは意外に広さが必要となる。大ホールと中ホールで兼ねることで効率良く使うことができるだろう。
- 大ホールと中ホールは隣接させるのではなく、間にホワイエを設け、それを広くとったほうが来場者の動線が混乱せず良いのではないか。
- 札幌の Kitara のようにホワイエを L 字に配置するのはどうか。
- 中ホールを 500 席にすると、バレエの公演では少し小さく感じる。ただ、演者としては、ホールは満席に近い方がモチベーションにつながる所以が良い。
- 楽器の種類や奏者により適した規模が異なる。若い奏者は広いと満席にするのが難しい。コンサートで有名なソロ奏者がいるような場合は客席数が 500 以下だと収益の面で厳しい。
- ホールは客席数が多いからこそ誘致できるアーティストがいるので、大きくできるのなら大きい方が良いだろう。現市民会館の 1,630 席が満席になる機会として市内の高校などの定期演奏会がある。2 日の公演が 3 日になるなど日数を増やすか、別の会場で実施する必要があるだろう。

■ 展示スペース（青）について

- 展示スペースは仕切られた空間の中に入らなくても、たまたま近くを通った人が展示を見られるようにすると多くの人に利用してもらえるのではないか。
- 有料スペースと一般開放スペースを階段で緩やかに仕切る事例もある。

- 展示室ではなく展示スペースとして、通路と一体的に設けると良いのではないかな。
- 図書スペースも、展示スペースと同様に通路と一体的な設えにし、図書館のような印象を与えないものが良いのではないかな。

■ 窓口スペース（緑）について

- ・ 事務室を玄関ホールに隣接させ、必要に応じて子どもの世話をしてもらうことはできないかな。

■ 共用スペース（灰）について

- ・ 玄関ホールは、子どもがどこかへ行ってしまわないように何かで仕切られた空間があると、子どもを持つ親としては安心感がある。
 - ホールに隣接してカフェが欲しいが、子どもを連れてカフェに入るのは少し抵抗がある。
 - カフェは目の前のオープンスペースに対して開き、テラス席などを設置すると良いのではないかな。
 - カフェの持つ親しみやすい雰囲気を利用して、普段ホールに足を運ばない人も来るきっかけになるようにカフェとホールをつなぐと良いのではないかな。
 - ホールでの鑑賞を終えた人が余韻に浸るスペースと、子ども達が遊んでいる玄関ホールが直接つながると良くないので、カフェが丁度良い境になるのではないかな。
 - 玄関ホールは自分で持ってきたお茶を飲めるような雰囲気のスペースであれば人も気軽に来やすいのではないかな。
- ・ 玄関ホールは、外のオープンスペースとつながるように一体的にすると、例えばコンサートやパフォーマンスの場となり、活動の幅が広がるのではないかな。

表 各機能スペースの配分

合計	活動	鑑賞	窓口	展示	共用
10,320 m ²	1,320 m ²	6,480 m ²	350 m ²	520 m ²	1,650 m ²
100.0%	12.8%	62.8%	3.4%	5.0%	16.0%